

オムロンの概要



2020年12月
オムロン株式会社

事業概要

会社データ

創業

1933年（昭和8年）5月10日

本社

京都市下京区塩小路通堀川東入

資本金

641億円

連結売上高

6,780億円（2019年度）

連結従業員数

連結28,006人*

上場市場

東証1部（証券コード 6645）

発行済株式総数

206,245千株*

* 2020年3月末時点

1933年に「立石電機製作所」として創業

1933年、立石一真が東大阪で「立石電機製作所」を創業。

オムロン創業の契機となった第1号製品は、レントゲン写真撮影用タイマー。20分の1秒で正確に撮影できる当時としては画期的な製品だった。

1945年、戦災を逃れ京都・御室に本社を移転。

1990年、「オムロン株式会社」に社名変更



創業者 立石一真
(1900~1991)



創業当時の様子



レントゲン写真
撮影用タイマー

私たちのDNA: 事業を通じて社会の発展に貢献する

1959年 会社の憲法「社憲」を制定



創業者直筆による社憲の草稿スケッチ

【社憲】

われわれの働きで
われわれの生活を向上し
よりよい社会をつくりましょう

企業理念（2015年改定）

Our Mission

（社憲）

われわれの働きで われわれの生活を向上し よりよい社会をつくりましょう

Our Values

私たちが大切にする価値観

- ・ **ソーシャルニーズの創造**

私たちは、世に先駆けて新たな価値を創造し続けます。

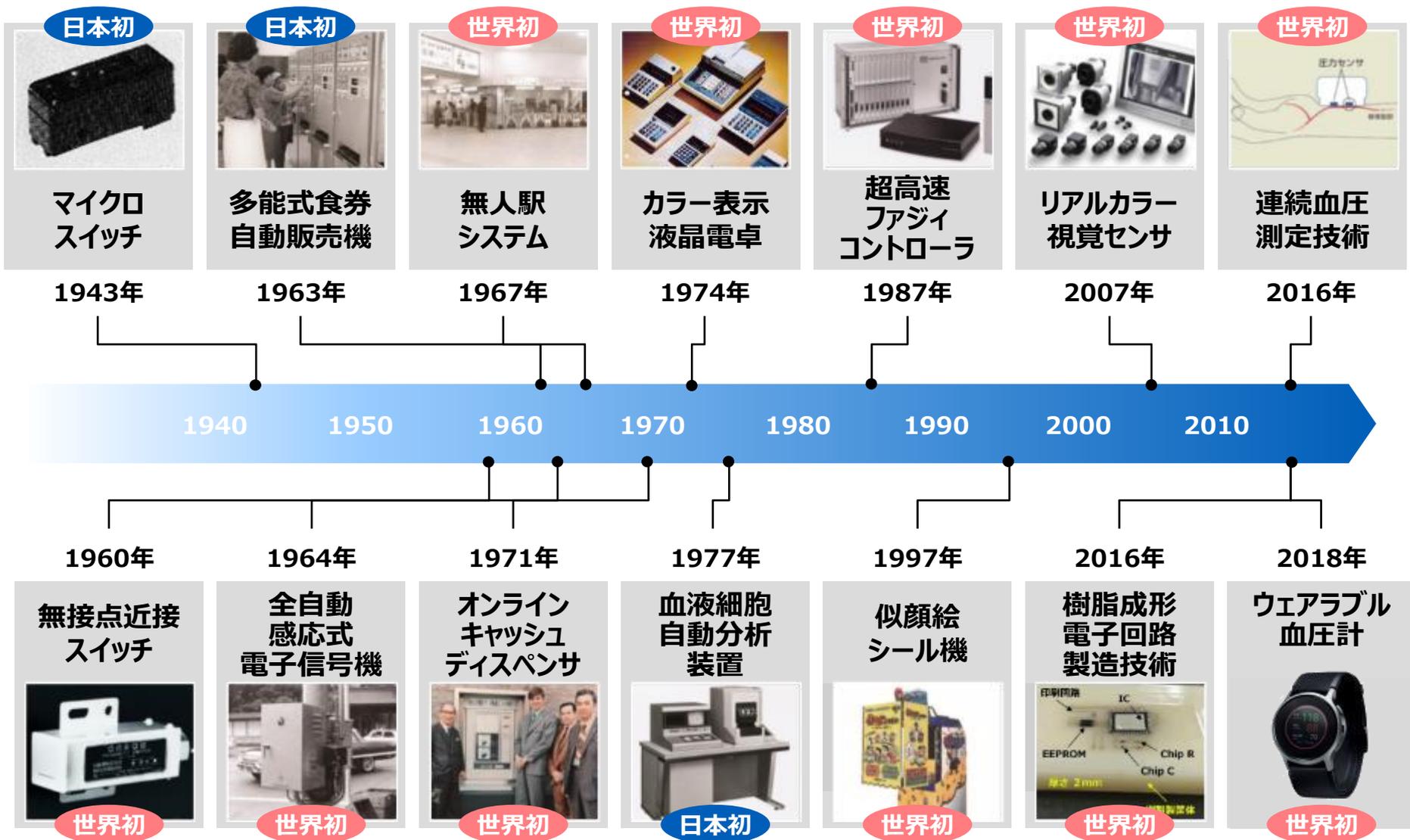
- ・ **絶えざるチャレンジ**

私たちは、失敗を恐れず情熱をもって挑戦し続けます。

- ・ **人間性の尊重**

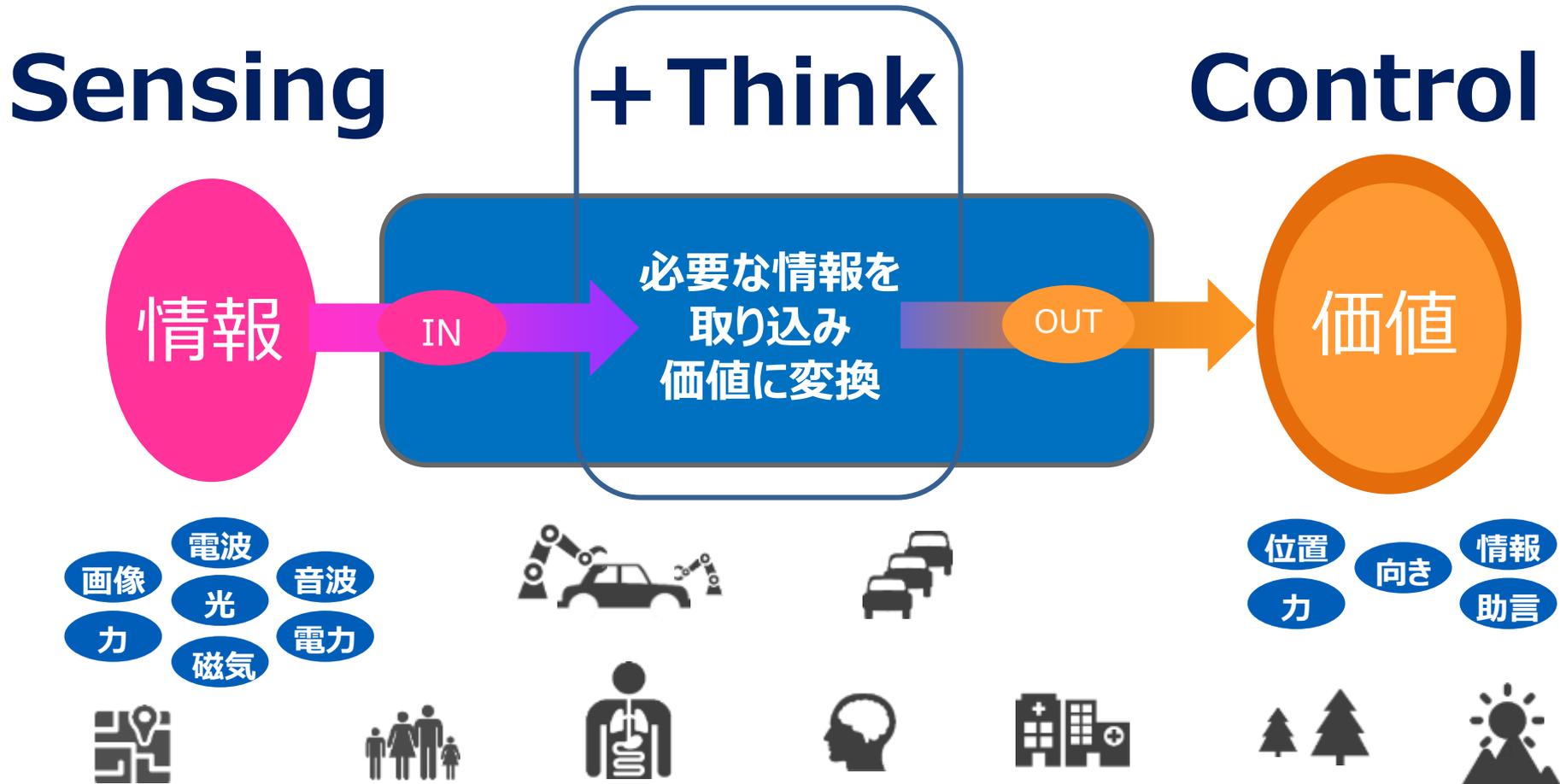
私たちは、誠実であることを誇りとし、人間の可能性を信じ続けます。

オムロンの歴史は「ソーシャルニーズの創造」の歴史



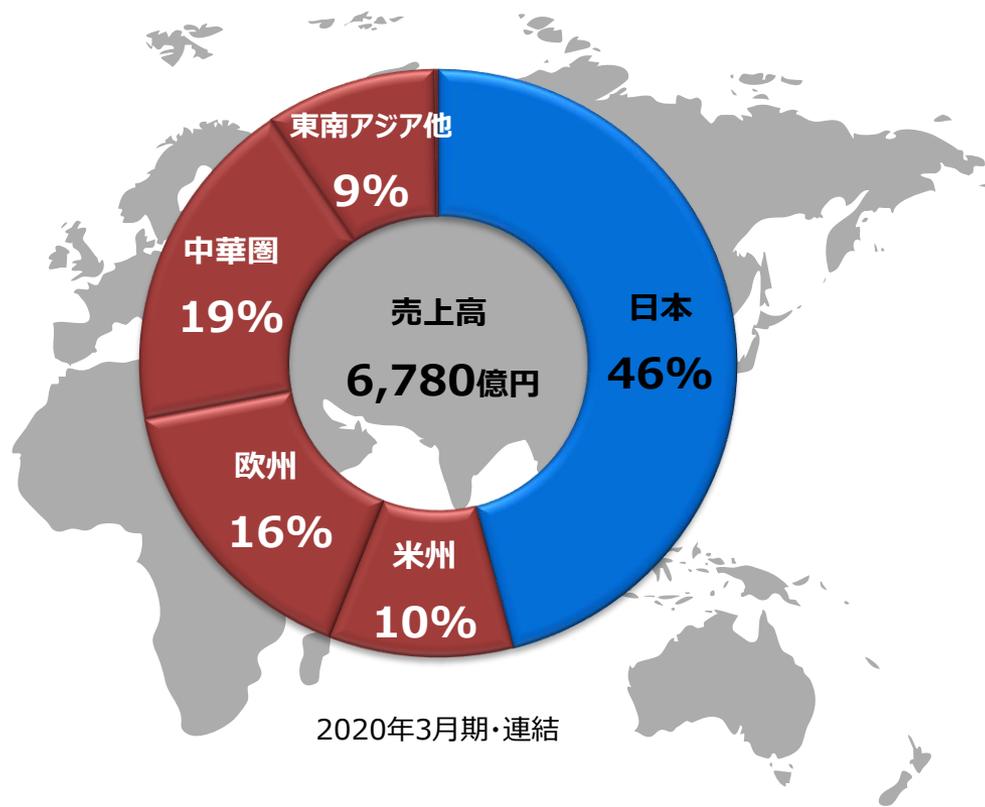
オムロンのコア技術

センシング & コントロール+Thinkは、
「情報」を独自のアルゴリズムで「価値」に変換するオムロンのコア技術

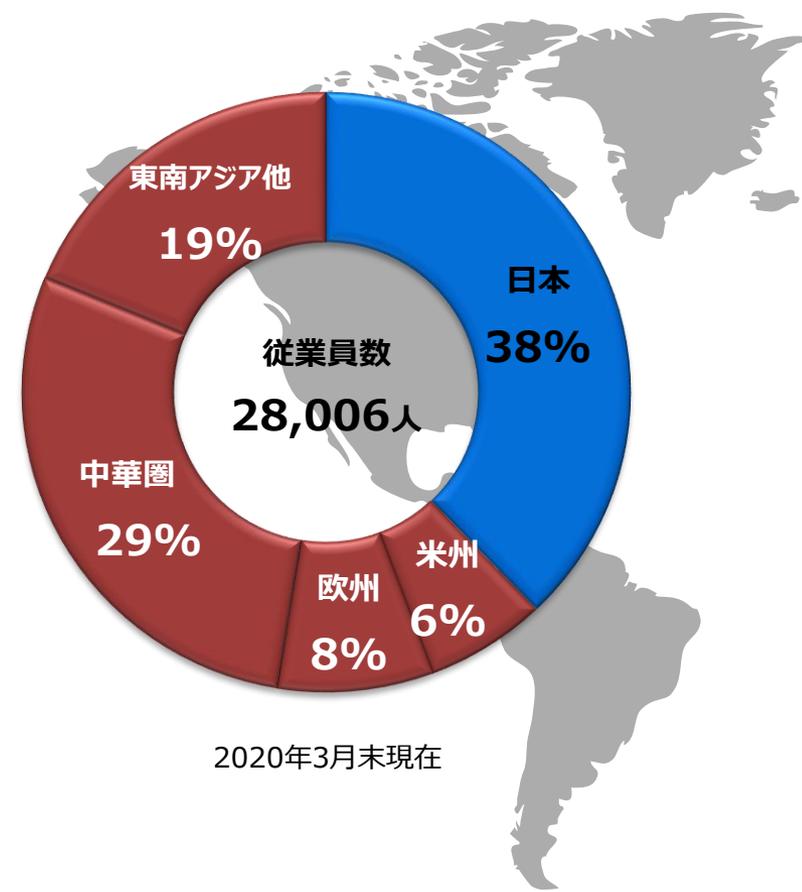


約120の国と地域で事業を展開

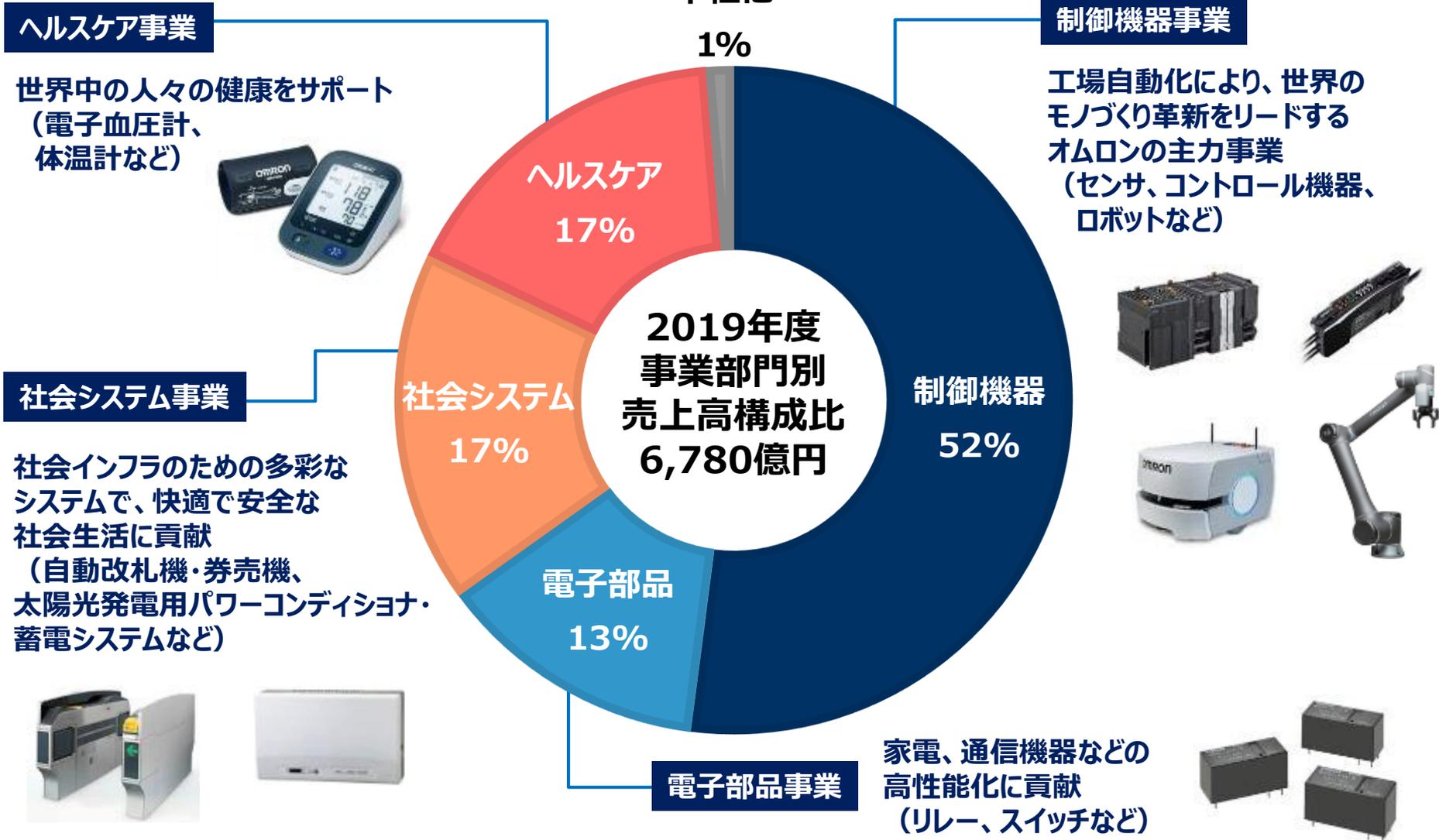
5割以上が海外売上 (売上高構成比)



約6割が日本人以外 (従業員比率)



オムロンの多彩な事業ポートフォリオ



制御機器事業

■ 商品別売上構成比

アウトプット+ロボット



サーボモーター・
サーボドライバー



モバイル
ロボット

ロジック



プログラマブル
コントローラー

モーション
コントローラー



セーフティ
コントローラー

インプット

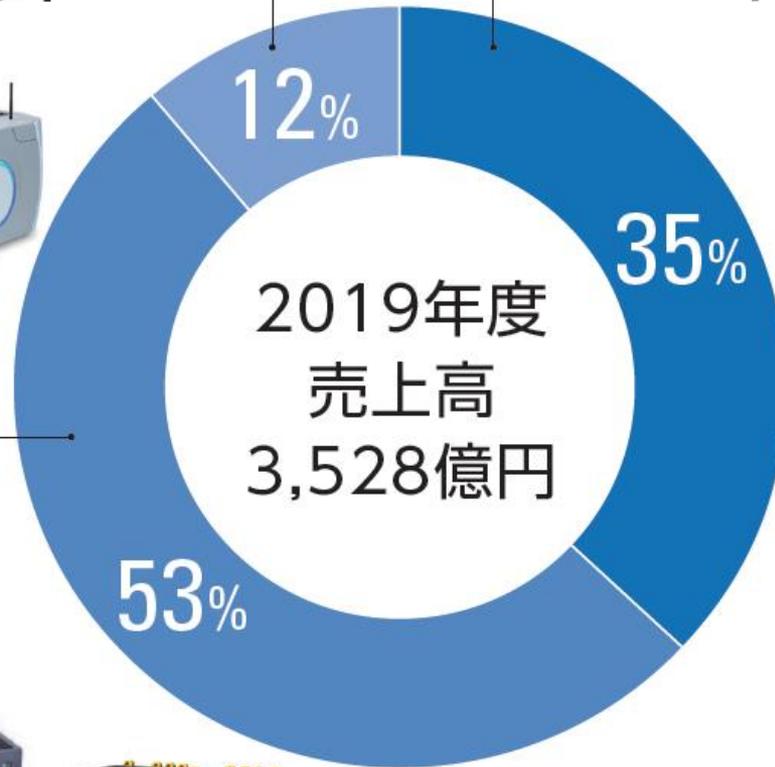


ファイバ
センサー



画像センサー

セーフティ
ライトカーテン



幅広いラインナップ

20万機種を越える豊富な商品 × 170に及ぶ制御アプリ技術の摺合せ



制御アプリ技術



Input



Logic



Output



Robot

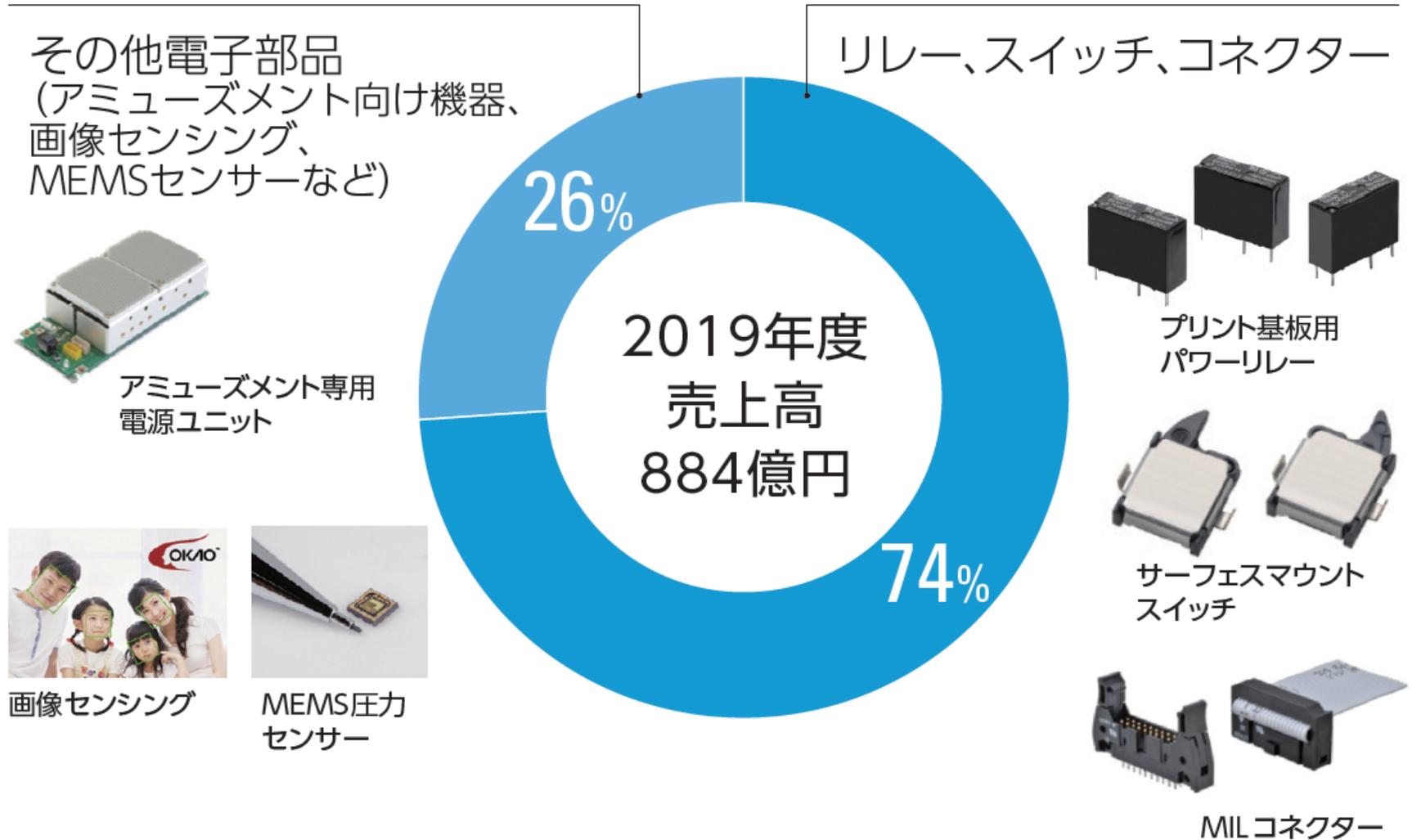


Safety



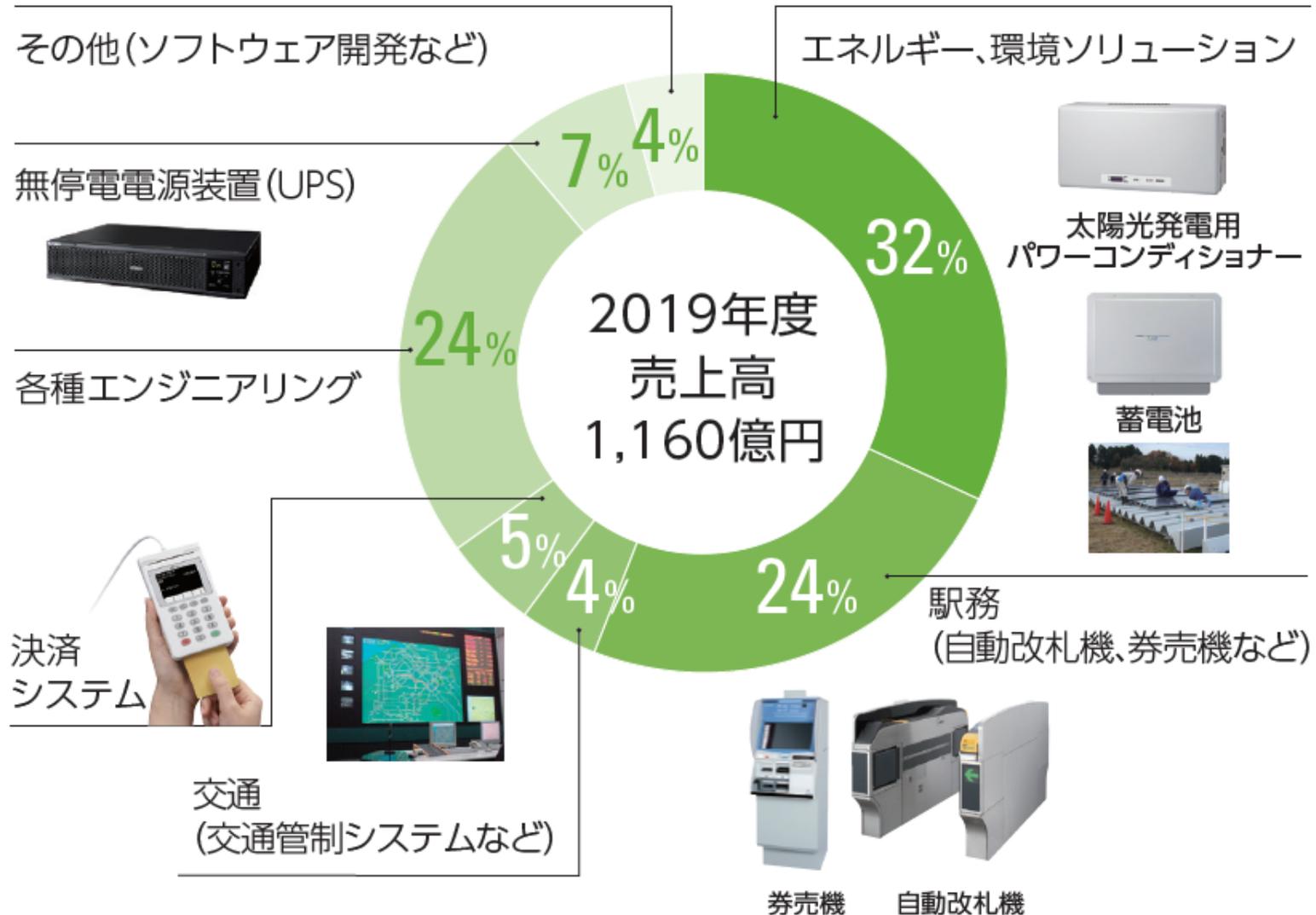
電子部品事業

商品別売上構成比



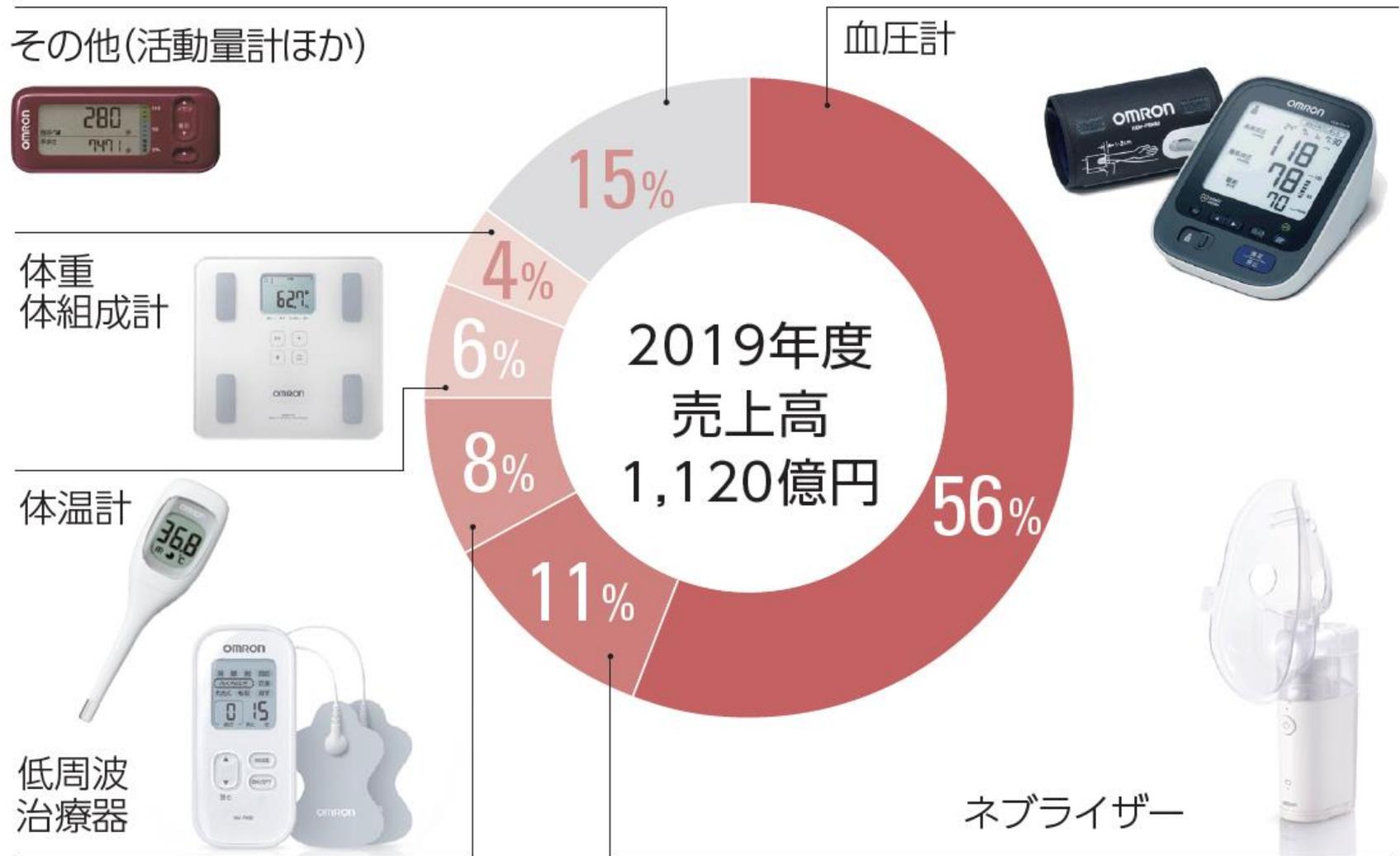
社会システム事業

■ 商品別売上構成比



ヘルスケア事業

■ 商品別売上構成比



企業価値向上に向けた取り組み

中期経営計画VG2.0で目指す姿・全社方針

サステナビリティの取り組みを中計VG2.0に盛り込む

企業理念

中期経営計画 VG2.0

業績目標・事業戦略

サステナビリティ重要課題

質量兼備の地球価値創造企業

- 1. 注カドメインを再設定し事業を最強化
- 2. ビジネスモデルの進化
- 3. コア技術の強化

×

パートナーとの協創

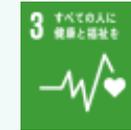
+

人財マネジメント・ものづくり・
リスクマネジメント…

FA



ヘルスケア



ソーシャル
ソリューション



×

パートナーとの協創



+

人財
マネジメント



ものづくり



リスク
マネジメント



主要ESGインデックスへの組み入れ（2020年12月時点）

＜オムロンが選定されているESGインデックス＞

- ✓ DJSI – World **4年連続選定**
- ✓ FTSE4Good Index Series **5年連続選定**
- ✓ MSCI ESG Leaders Indexes **6年連続選定**
- ✓ MSCI SRI Indexes **4年連続選定**
- ✓ STOXX Global ESG Leaders Indices **5年連続選定**
- ✓ FTSE Blossom Japan Index **4年連続選定**
- ✓ MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数 **4年連続選定**
- ✓ MSCI 日本株 女性活躍指数 **4年連続選定**
- ✓ S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数 **3年連続選定**

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**
Powered by the S&P Global CSA



2020 MSCI ESG Leaders
Indexes Constituent

THE INCLUSION OF OMRON CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF OMRON CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

STOXX Member 2020/2021
ESG Leaders
Indices

2020 CONSTITUENT MSCI ジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数



FTSE Blossom
Japan

THE INCLUSION OF OMRON CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF OMRON CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

2020 CONSTITUENT MSCI 日本株
女性活躍指数 (WIN)



THE INCLUSION OF OMRON CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF OMRON CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

*オムロンでは、CDP気候変動・水に関する調査を含むESG評価機関による調査など、多くの外部からの調査に協力し、情報を開示しています。
2019年度評価：気候変動「A-」、水セキュリティ「B」



社外からの評価（2020年12月時点）

＜国内におけるESG関連表彰・銘柄選定＞

一般社団法人 日本取締役協会 主催

- ✓ コーポレート・ガバナンス・オブ・ザ・イヤー2018 経済産業大臣賞 **2018年度受賞**



Corporate Governance
of The Year

環境省 主催

- ✓ 平成30年度 地球温暖化防止活動大臣表彰
「対策活動実践・普及部門」を受賞

2018年度受賞



日本経済新聞社 主催

- ✓ 日経SDGs経営大賞 「SDGs戦略・経済価値賞」を受賞

2019年12月受賞

経済産業省・東京証券取引所 選定

- ✓ 企業価値向上表彰 大賞
- ✓ なでしこ銘柄
- ✓ 健康経営銘柄
- ✓ 健康経営優良法人～ホワイト500～

2014年度受賞

2017年度より3年連続選定

2018年度より2年連続選定

2016年度より4年連続選定



日本経済新聞社 選定

- ✓ 日経225

2019年3月 初選定

利益配分の基本方針

利益配分の優先順位は、①将来の成長に向けた投資、②配当、③自己株式取得

将来の成長に向けた投資

FA、ヘルスケアを中心に、成長投資(M&A)、研究開発費、設備投資に振り向ける

配当

年間配当は配当性向30%程度、株主資本配当率(DOE)3%程度を目安として決定する

自己株式取得

長期にわたり留保された余剰資金は、機動的に自己株式の取得を実施

ROIC経営

中長期の経営判断基準としてROIC経営を設定

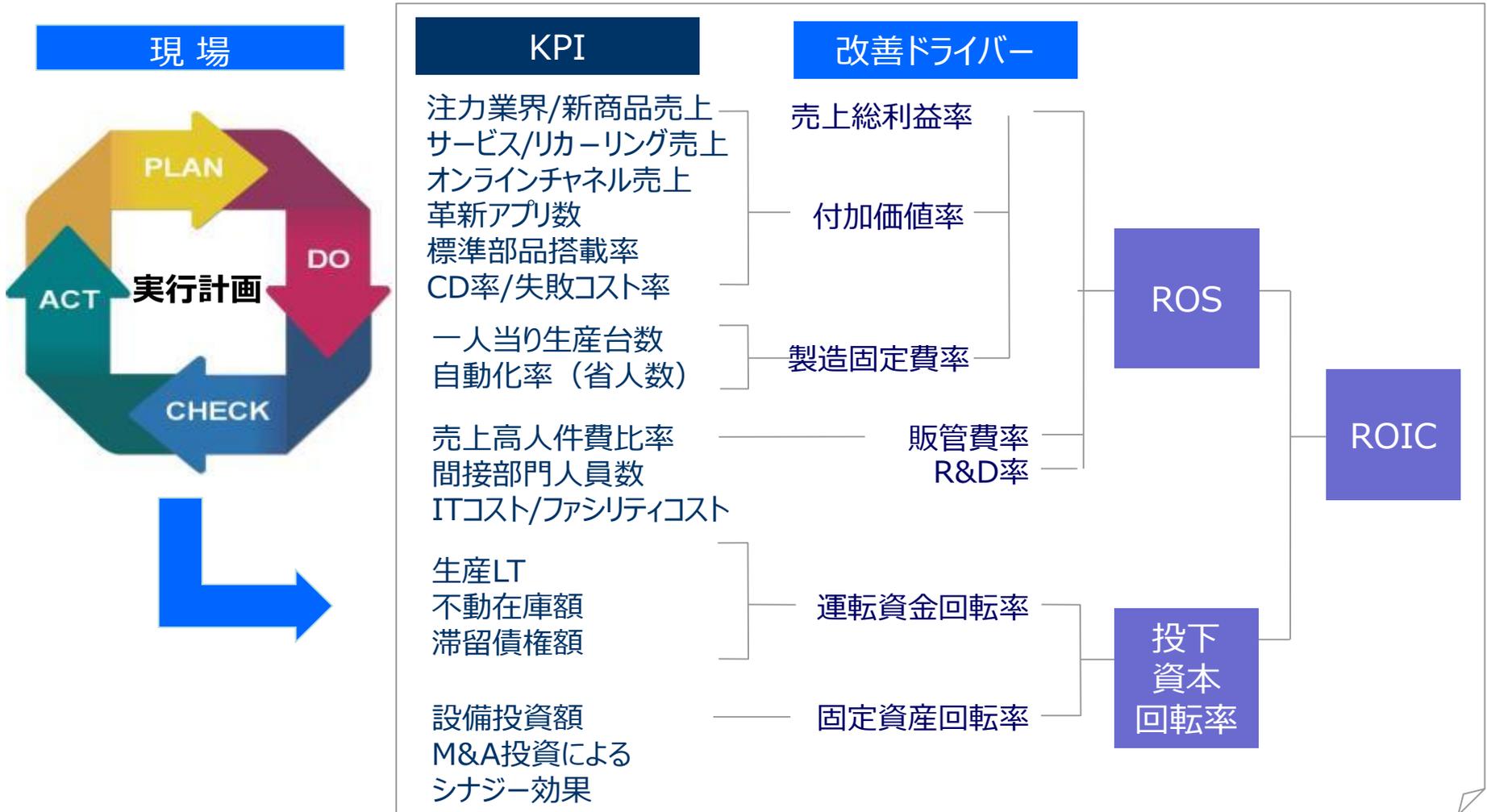


- 各事業の構造・課題に応じた、ROIC改善の強化項目（ドライバー）とそれらを強化・改善するためのアクションとKPIを設定。

- 各BCのポジションに応じた投資強化や事業撤退の戦略を立案。
- 経営資源の配分を決定。

ROIC逆ツリー展開 (2.0)

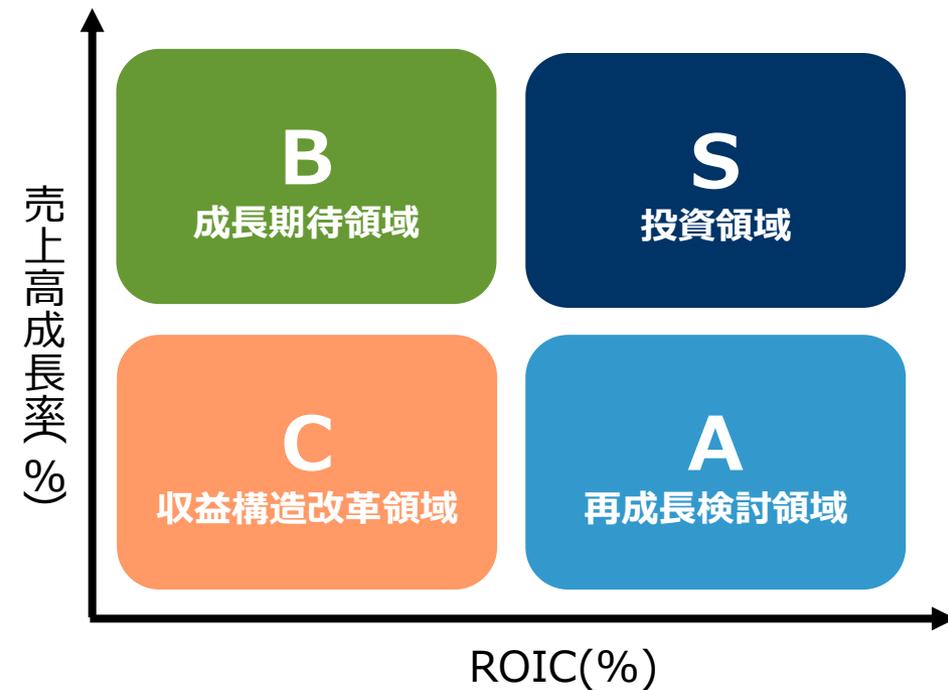
逆ツリー展開を通じ、現場まで繋がったKPI/PDCAを実行



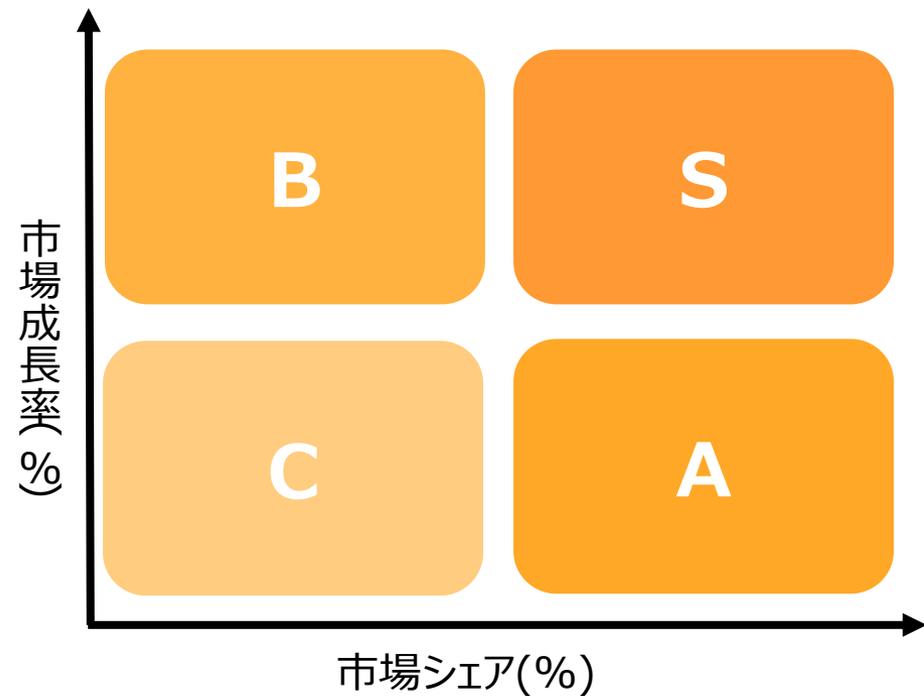
ポートフォリオマネジメント

経済価値評価および市場価値評価を行い、最適な資源配分を実行

■ 経済価値評価



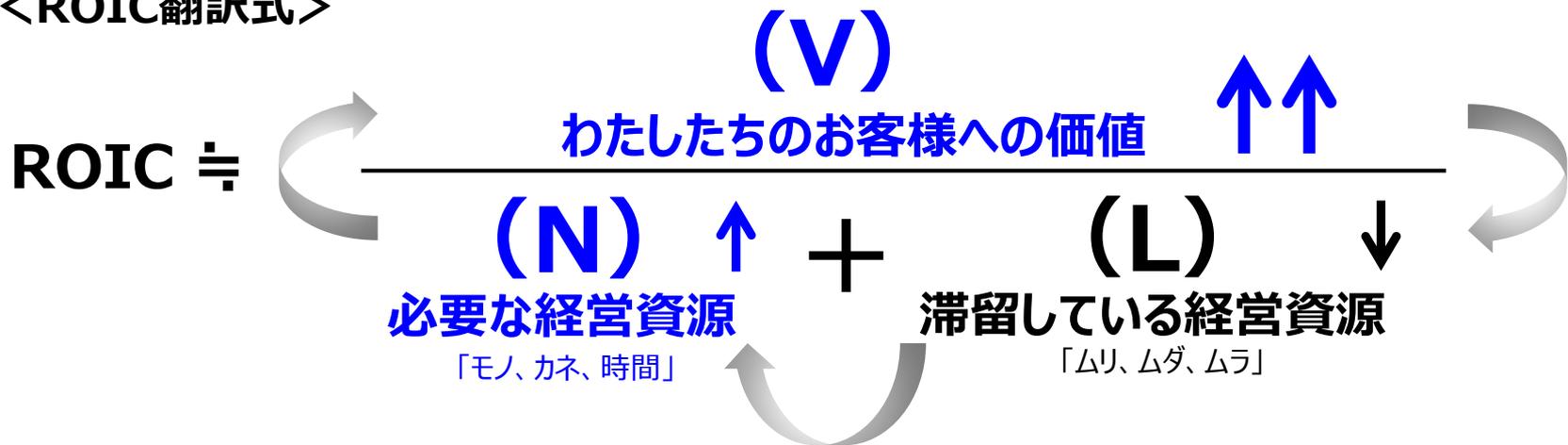
■ 市場価値評価



ROIC経営の進化（ROIC経営2.0）

ROICのより深い理解により、各人が自分ごととして捉え、
自律的に活動が展開できるように進化させていく

<ROIC翻訳式>



- ① 価値創造のために必要な経営資源(N)（モノ、カネ、時間）を果敢に投入する。
- ② それ以上に、お客様への価値(V)を大きくする（↑は二つ!）。
- ③ 滞留している経営資源(L)（ムリ、ムダ、ムラ）を減らして(N)にシフト/投入する。

コーポレートガバナンス体制

持続的な価値向上を担保するため、透明性・実効性の高い機関設計

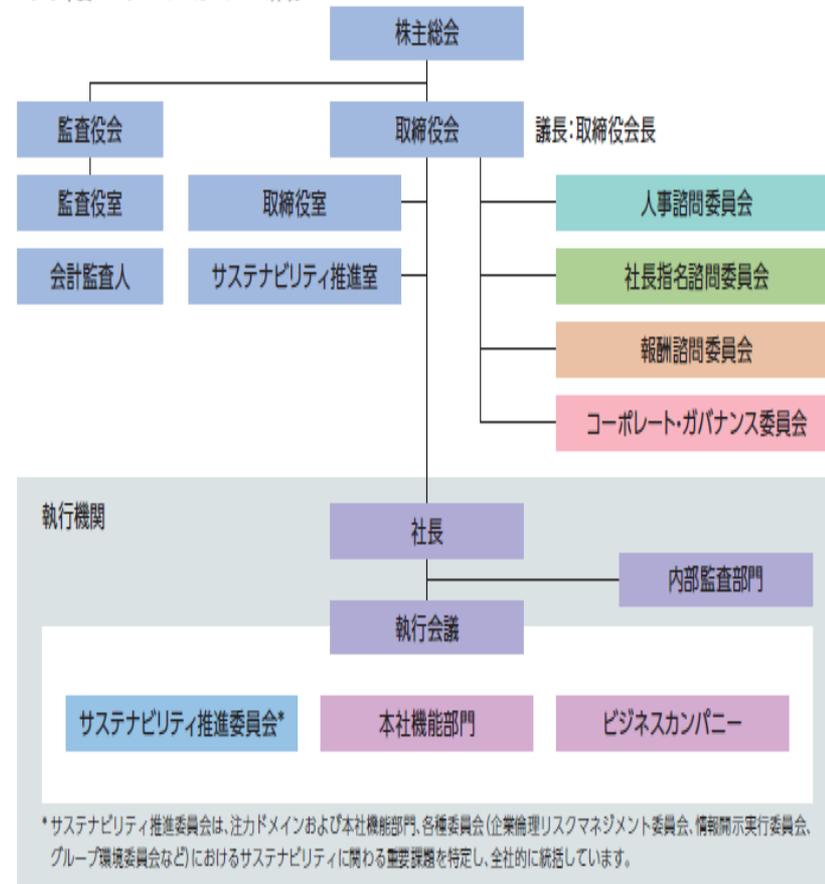
✓ 監督と執行の分離

- 取締役会議長とCEOの分離
- 2015年6月23日定時株主総会より
全取締役8名中、3名が社外独立取締役、
非業務執行取締役がマジョリティ
- カンパニー社長への大幅権限移譲により、
意思決定を迅速化

✓ 人事諮問・社長指名諮問・報酬諮問委員会、 コーポレート・ガバナンス委員会の設置

- 監査役会設置会社として監査機能をもつと同時に、
3つの諮問委員会と1つの委員会を設置
- いずれの委員会も、委員長は社外独立取締役
- 社長はいずれの委員会にも属さない

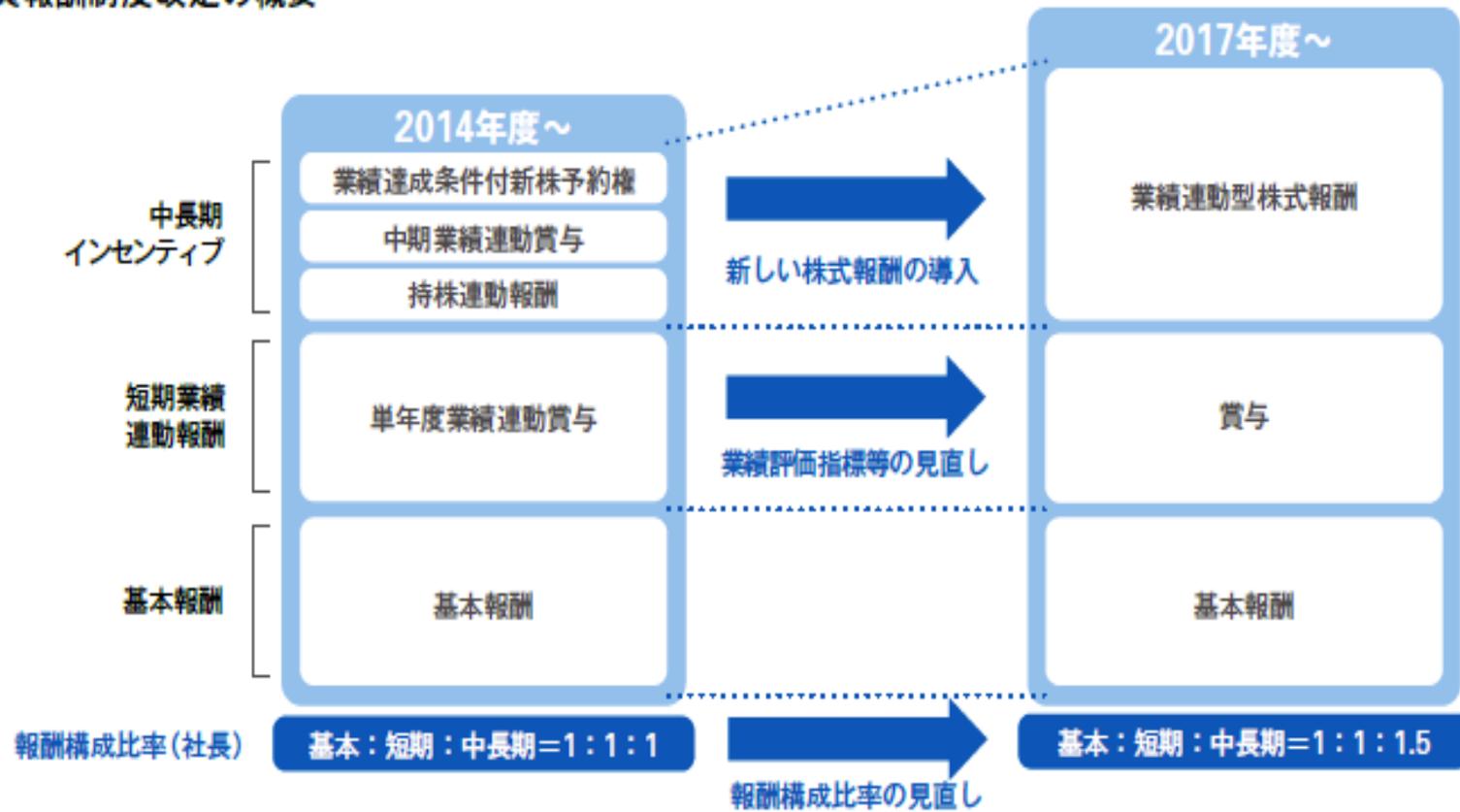
2019年度コーポレート・ガバナンス体制



報酬体系

役員報酬における中長期業績連動の構成比率を拡大。

■ 役員報酬制度改定の概要



OMRON